

フラワーハートセラピー

～ 花の芸術療法 ～

はなばすセラピスト養成コース

【IATH会員】ダイジェスト版テキスト



特定非営利活動法人 IATH



初めてのフラワーハートセラピー

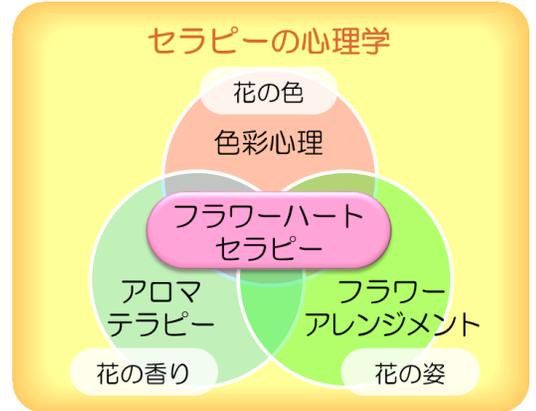
1. フラワーハートセラピーとは？

～ 花の生命力に癒される “花の芸術療法” ～

フラワーハートセラピーとは、花を使った芸術療法。色彩心理、アロマセラピー、フラワーアレンジメントと臨床心理学を統合したセラピーです。セラピーテーマに合わせた花のワークをしたり、自由アレンジ作品を心理分析しながらセラピーを進めたり、方法は多岐にわたります。

心身を整える効果のある花を生活に採り入れる提案もしています。

家庭や職場での日々のメンタルヘルスはもちろんの事、病院や福祉施設での採用、子どもの心育て活動「花育」による教育現場や地域活動の取り組み、フローリストやデザイナーによる癒しの花の提案など、様々な分野で活用されています。



2. こんなところで活用されています

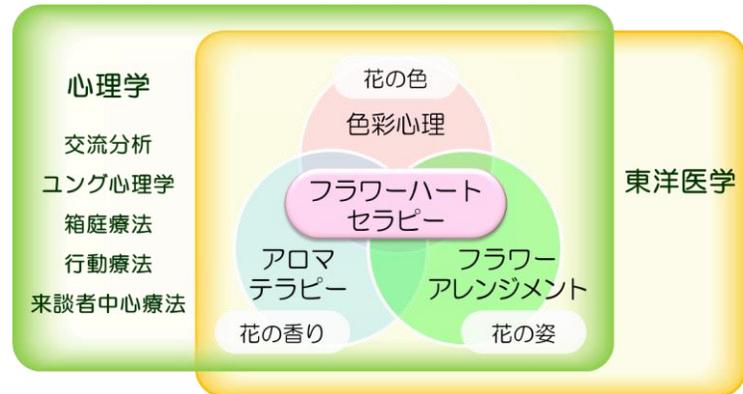
高齢者福祉 <ul style="list-style-type: none">認知症予防、リハビリクオリティオブライフの向上	セレモニーフラワー <ul style="list-style-type: none">ブライダル、パーティーメモリアル	講師（認定校、カルチャー他） <ul style="list-style-type: none">NPO法人IATH認定校として独立自宅、カルチャースクールでの講師
花育（学校、教室） <ul style="list-style-type: none">子供たちの心育て不登校、いじめ、自殺対策	フローリスト <ul style="list-style-type: none">癒しの花の提案ブランド力の強化	メンタルケア <ul style="list-style-type: none">ストレスケア心療内科、精神科との連携
心のケア ボランティア <ul style="list-style-type: none">被災地ボランティアメンタルデイケア		サロン <ul style="list-style-type: none">コミュニティサロン自宅サロン 他

こんな時にはこんな花を・・・

フラワーハートセラピストが提案する一例です。

<p>[ストレスからくる胃腸の不調...]</p> <p>サンダーソニア + ブルースター + グリーンマム</p>	<p>[人間関係を円満にしたい...]</p> <p>ピンクのユリ + パープル・ホワイトのスカビオサ + マトリカリア</p>
<p>[強く自己主張がしたい...]</p> <p>ストロベリーフィールド + ヒマワリ</p>	<p>「こんな時にはこの花が正解」というわけではありません。大切なのは「クライアントのこころ」。フラワーハートセラピスト養成では、花の心理分析のノウハウと共にコミュニケーションの心理学、クライアントに寄り添う「人間力」を身につけていきます。「はなばさセラピスト」の次は「フラワーハートセラピスト」を目指してステップアップする未来を描いてみましょう！</p>

3. フラワーハートセラピーのバックグラウンド



4. 「お花に癒される」・・・ってどういうこと？

- 花の生命力に癒される・・・とは？

- 「五感」は心の最前線！

キーワードは「五感」 視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚

- イメージ力を鍛えて、感性を刺激して、ココロしなやかになろう！

6. セラピストの倫理（主なもの）

1. クライアントの安心できる環境づくり。クライアントを傷つけない配慮。
2. 秘密を守る＝守秘義務
 - ＊守秘義務が解除されるケース
 - ・ 自傷自殺の可能性が高い場合
 - ・ 他傷他害の可能性が高い場合
 - ・ 通報が義務付けられている場合・・・児童虐待の疑い など
3. セラピストが、健全な状態を保つようにする。
自分のゆがみを知り、自分が未解決な課題と同じ課題をもつクライアントの場合は注意が必要。
4. リファーする。 ※refer: 任せる、委託する、差し向ける・・・などの意
 - ・ 責任の持てない無理なケースを受け持たない。
 - ・ 医師、専門家などが対処したほうがよいケースの判断が、できるようになること。
5. スーパービジョンを受けるなど、常にセラピストとしての実力を磨く。
6. クライアントの自立支援が目的であることを見失わない。
7. 心理学とスピリチュアルや占いとの区別をする。
8. 物品販売、宗教への勧誘などの禁止。
9. クライアントとの性関係の禁止。
10. 一般的な法律の順守。

7. 知っておきたい精神疾患 <★フラワーハートセラピーが奏功する度合い>（セラピストの対応レベル）

- ・ 統合失調症 <★ > （上級）
- ・ うつ病 <★★ > （上級）
- ・ 双極性障害（躁うつ病）<★ > （上級）
- ・ 強迫性障害 <★★★★> （中上級）
- ・ 摂食障害 <★★ > （中上級）
- ・ パニック障害・不安障害 <★★★★> （中上級）
- ・ PTSD <★ > （上級）
- ・ 認知症 <★★★★> （中級）
- ・ 薬物依存症
- ・ アルコール依存症
- ・ 心身症（ストレス性の身体疾患）<★★★★> （中上級）

＊自律神経失調症、高血圧、糖尿病、胃腸炎、ぜんそく、じんましん 等

十分な実力がつくまでは、健康な人を対象のメンタルケアとしてセラピーを実施すること。